

旧	新	備考
<p>政策の柱「4 豊かさ好循環の産業 さが」</p> <hr/> <p>世界を見据えた県産品の販路拡大</p> <p>【統括責任課】流通・通商課 【関係課】国際課、畜産課</p> <hr/> <p>【課題・対応】 少子・高齢化や人口減少に伴う国内市場の縮小に対応するためには、これまで以上に生産者、事業者等の輸出への取組を促進することが必要です。 具体的には、農産物については、輸出のモデルケースを創出するため、特に、香港などで高い評価を受けており、輸出品目として有望な佐賀牛の輸出促進に引き続き注力して取り組む必要があります。 また、加工食品、日本酒については、事業者の輸出への取組を促進するため、輸出環境の整備や支援の強化に取り組む必要があります。 さらに、海外への県産品の販路開拓・拡大等を図っていくには、新興国の経済成長等に伴うビジネスチャンスの拡大や輸出入自由化の進展、TPP や日 EU 経済連携協定などへの対応が重要となっていますが、県内事業者（生産者・加工業者）や県等の支援機関については、流通業界における人的ネットワーク、販売ノウハウなどが不足しています。 このようなことから、県産品の販売拡大、情報発信等の流通対策業務について、外部機関に移管し、その外部機関に専門的知識を擁す人材を雇用するなどして流通販売推進体制を強化する必要があります。</p> <p>【取組方針】 佐賀牛の輸出については、既に商流が構築され、本県ブランドが定着している国に対しては、効果的な営業活動やプロモーションを実施し、一層の販路拡大に取り組めます。また、新たに輸出を開始する国に対しては、まずは認知度の向上が必要であることから、国の戦略と連動して「ジャパンプランド」での PR 活動に取り組めます。さらに、輸出先国が設定した衛生管理基準等への適合化を図ります。 加工食品、日本酒については、事業者の輸出への取組を促進するため、知的財産の保護や、輸出先の国や業者が設定した輸入基準・条件を満たすことができるよう支援するなどして輸出環境を整備し、輸出意欲の高い食品事業者への支援の強化に取り組めます。 新たに外部組織を設置し、海外における流通販売の推進体制を強化します。</p> <p>[主な具体的取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者等への巡回や相談対応 ・佐賀県食肉センターの再整備などによる輸出先国が設定した基準等への適合化 ・海外市場開拓調査 ・産地 PR、海外バイヤー招聘 ・海外の輸入卸業者や海外事務所と連携した海外販売促進活動 ・国が設ける品目別輸出団体との連携 ・事業者が取り組む市場調査、パッケージ開発、見本市等への出展などに対する支援 ・さが県産品流通デザイン公社の設置 	<p>政策の柱「4 豊かさ好循環の産業 さが」</p> <hr/> <p>世界を見据えた県産品の販路拡大</p> <p>【統括責任課】流通・通商課 【関係課】国際課、畜産課</p> <hr/> <p>【課題・対応】 少子・高齢化や人口減少に伴う国内市場の縮小に対応するためには、これまで以上に生産者、事業者等の輸出への取組を促進することが必要です。 具体的には、農産物については、輸出のモデルケースを創出するため、特に、香港などで高い評価を受けており、輸出品目として有望な佐賀牛の輸出促進に引き続き注力して取り組む必要があります。 また、加工食品、日本酒については、事業者の輸出への取組を促進するため、輸出環境の整備や支援の強化に取り組む必要があります。 さらに、海外への県産品の販路開拓・拡大等を図っていくには、新興国の経済成長等に伴うビジネスチャンスの拡大や輸出入自由化の進展、TPP や日 EU 経済連携協定などへの対応が重要となっていますが、県内事業者（生産者・加工業者）や県等の支援機関については、流通業界における人的ネットワーク、販売ノウハウなどが不足しています。 このようなことから、県産品の販売拡大、情報発信等の流通対策業務について、外部機関に移管し、その外部機関に専門的知識を擁す人材を雇用するなどして流通販売推進体制を強化する必要があります。</p> <p>【取組方針】 佐賀牛の輸出については、既に商流が構築され、本県ブランドが定着している国に対しては、効果的な営業活動やプロモーションを実施し、一層の販路拡大に取り組めます。また、新たに輸出を開始する国に対しては、まずは認知度の向上が必要であることから、国の戦略と連動して「ジャパンプランド」での PR 活動に取り組めます。さらに、輸出先国が設定した衛生管理基準等への適合化を図ります。 加工食品、日本酒については、事業者の輸出への取組を促進するため、知的財産の保護や、輸出先の国や業者が設定した輸入基準・条件を満たすことができるよう支援するなどして輸出環境を整備し、輸出意欲の高い食品事業者への支援の強化に取り組めます。 新たに外部組織を設置し、海外における流通販売の推進体制を強化します。</p> <p>[主な具体的取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者等への巡回や相談対応 ・佐賀県食肉センターの再整備などによる輸出先国が設定した基準等への適合化 ・海外市場開拓調査 ・産地 PR、海外バイヤー招聘 ・海外の輸入卸業者や海外事務所と連携した海外販売促進活動 ・国が設ける品目別輸出団体との連携 ・事業者が取り組む市場調査、パッケージ開発、見本市等への出展などに対する支援 ・さが県産品流通デザイン公社の設置 	

【指標】

主要品目別の輸出量等について、平成 30 年度までに、牛肉は 7.0%、加工食品は 30 社、日本酒は 15 社とすることを目指します。(輸出促進協議会事業等の実施による実績値であり、県で把握可能な数値に限る。)

指標名	単位	現状	目標				
		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
牛肉 (出荷頭数に占める輸出頭数の割合)	%	3.9	5.1	5.7	6.3	7.0	
加工食品 (輸出事業者数)	社	18	21	24	27	30	
日本酒 (輸出事業者数)	社	7	9	11	13	15	

流通・通商課調べ

【指標】

主要品目別の輸出量等について、平成 30 年度までに、牛肉は 7.0%、加工食品は 30 社、日本酒は 15 社とすることを目指します。(輸出促進協議会事業等の実施による実績値であり、県で把握可能な数値に限る。)

指標名	単位	現状	目標				
		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
牛肉 (出荷頭数に占める輸出頭数の割合)	%	3.9	5.1	5.7	6.3	7.0	
加工食品 (輸出事業者数)	社	18	21	24	27	30	
日本酒 (輸出事業者数)	社	7	9	11	13	15	

さが県産品流通デザイン公社調べ

組織名修正

旧	新	備考																																																																		
<p style="text-align: center;">政策の柱「6 自発の地域づくり さが」</p> <hr/> <p style="text-align: center;">広域幹線道路ネットワークの整備</p> <p>【統括責任課】道路課</p> <hr/> <p>【課題・対応】</p> <p>本県は小さな都市が各地に分散する分散型県土を形成しており、自家用車保有台数が1世帯当たり1.5台を超えるなど自動車交通に依存し、将来的には人口減少により地域や産業の停滞が予想される中において、地域間の連携を強化し交流を促進するためには、高速交通ネットワークによる時間・距離の短縮と定時性の確保は重要な意味を持っており、地域にとって、将来の発展のベースとなる広域幹線道路ネットワークの整備が不可欠です。</p> <p>この整備を進めることで、地域資源を活かした産業の立地や活発な経済活動の促進、異常気象時における避難場所や救急・救援物資の輸送路などとしての防災機能の発揮、高次医療施設への救急搬送時間の大幅な短縮による救急ネットワークの強化、現道の交通混雑の緩和と交通安全の確保などの効果が期待されます。</p> <p>【取組方針】</p> <p>平成35年の「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会」開催に向けて、選手や観客のスムーズな移動のため、有明海沿岸道路など広域幹線道路ネットワークの整備を計画的かつ重点的に取り組みます。</p> <p>[主な具体的取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明海沿岸道路の整備促進 ・佐賀唐津道路の整備促進 ・西九州自動車道の整備促進 ・国道498号の整備促進 <p>【指標】</p> <p>広域幹線道路ネットワークについて、目標年度までに供用させることを目指します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">現状</th> <th colspan="5">目標</th> </tr> <tr> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域幹線道路ネットワークの供用状況</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>【有明海沿岸道路】 芦刈IC～ 芦刈南IC</td> <td></td> <td>【西九州自動車道】 南波多谷口IC～伊万里 東府招IC</td> <td>【国道498号】 若木バイパス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">道路課調べ</p>	指標名	単位	現状					目標					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	広域幹線道路ネットワークの供用状況	-	-	【有明海沿岸道路】 芦刈IC～ 芦刈南IC		【西九州自動車道】 南波多谷口IC～伊万里 東府招IC	【国道498号】 若木バイパス					<p style="text-align: center;">政策の柱「6 自発の地域づくり さが」</p> <hr/> <p style="text-align: center;">広域幹線道路ネットワークの整備</p> <p>【統括責任課】道路課</p> <hr/> <p>【課題・対応】</p> <p>本県は小さな都市が各地に分散する分散型県土を形成しており、自家用車保有台数が1世帯当たり1.5台を超えるなど自動車交通に依存し、将来的には人口減少により地域や産業の停滞が予想される中において、地域間の連携を強化し交流を促進するためには、高速交通ネットワークによる時間・距離の短縮と定時性の確保は重要な意味を持っており、地域にとって、将来の発展のベースとなる広域幹線道路ネットワークの整備が不可欠です。</p> <p>この整備を進めることで、地域資源を活かした産業の立地や活発な経済活動の促進、異常気象時における避難場所や救急・救援物資の輸送路などとしての防災機能の発揮、高次医療施設への救急搬送時間の大幅な短縮による救急ネットワークの強化、現道の交通混雑の緩和と交通安全の確保などの効果が期待されます。</p> <p>【取組方針】</p> <p>平成35年の「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」開催に向けて、選手や観客のスムーズな移動のため、有明海沿岸道路など広域幹線道路ネットワークの整備を計画的かつ重点的に取り組みます。</p> <p>[主な具体的取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明海沿岸道路の整備促進 ・佐賀唐津道路の整備促進 ・西九州自動車道の整備促進 ・国道498号の整備促進 <p>【指標】</p> <p>広域幹線道路ネットワークについて、目標年度までに供用させることを目指します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">現状</th> <th colspan="5">目標</th> </tr> <tr> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域幹線道路ネットワークの供用状況</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>【有明海沿岸道路】 芦刈IC～ 芦刈南IC</td> <td></td> <td>【西九州自動車道】 南波多谷口IC～伊万里 東府招IC</td> <td>【国道498号】 若木バイパス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">道路課調べ</p>	指標名	単位	現状					目標					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	広域幹線道路ネットワークの供用状況	-	-	【有明海沿岸道路】 芦刈IC～ 芦刈南IC		【西九州自動車道】 南波多谷口IC～伊万里 東府招IC	【国道498号】 若木バイパス					<p>大会名修正</p>
指標名			単位	現状					目標																																																											
	H26年度	H27年度		H28年度	H29年度	H30年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																																																									
広域幹線道路ネットワークの供用状況	-	-	【有明海沿岸道路】 芦刈IC～ 芦刈南IC		【西九州自動車道】 南波多谷口IC～伊万里 東府招IC	【国道498号】 若木バイパス																																																														
指標名	単位	現状					目標																																																													
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																																																									
広域幹線道路ネットワークの供用状況	-	-	【有明海沿岸道路】 芦刈IC～ 芦刈南IC		【西九州自動車道】 南波多谷口IC～伊万里 東府招IC	【国道498号】 若木バイパス																																																														